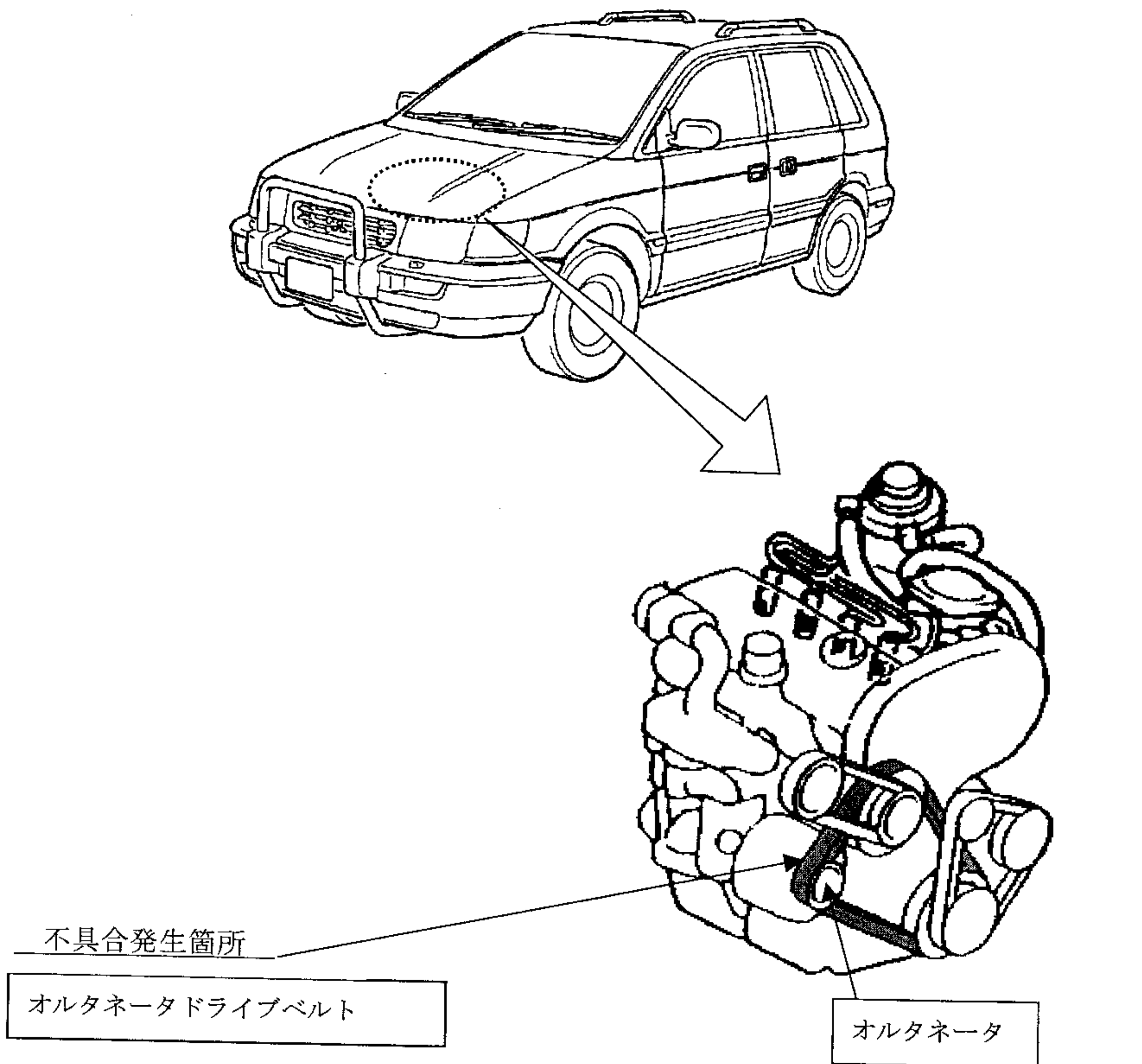


改善箇所説明図



負圧ポンプを内蔵したオルタネータのプーリ形状が不適切なため、整備時、オルタネータドライブベルトを過張力で調整すると、エンジンの回転変動により当該ベルトが早期に摩耗する可能性がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、ベルトが破損し、負圧ポンプが停止することによりブレーキ倍力機能が損なわれ、制動力が低下するおそれがある。なお、当該ベルトが規定値内の調整の場合は、当該ベルトは十分な耐久性がある。

改善の内容

全車両、オルタネータを点検し、未対策品が装着されているものはオルタネータを対策品にオルタネータドライブベルトを新品と交換する。

注：図中の 内は交換部品を示す

識別：右側フードヒンジの上側取付けボルト頭部に白色または黄色のペイントを塗布する。